

1 快適な都市空間の形成

●都市の骨格となる道路整備

- 慢性的な交通渋滞の緩和を図る道路整備を推進しています。
令和4年度は、大分市の東西骨格軸である（都）庄の原佐野線（下郡工区）の工事に着手するなど、渋滞緩和に向けて、事業の進捗を図りました。



令和元年5月
令和5年3月
（都）庄の原佐野線（下郡工区） 工事状況

●道路空間の再生

- 道路の拡幅や既存の道路敷内における幅員構成の見直し、歩道整備、バリアフリー化、電線類の地中化などを実施し、質的向上を推進しています。
令和4年度は、日田市の（都）銭湊大宮線の改良工事や別府市の国道500号の歩道設置工事などを行いました。



整備前
整備後
（都）銭湊大宮線 歩道整備状況

●都市公園の整備

- 長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の改修を推進しています。
令和4年度は、誰もが快適に利用出来る施設となるよう、高尾山自然公園や大洲総合運動公園の周辺園路のバリアフリー化を目的とした改修工事を行いました。



改修前
改修後
高尾山自然公園 園路のバリアフリー化

【目標指標】

指 標	基準値		R4年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
対策を講じる主要渋滞箇所数	H26	—	23箇所	27箇所	117.4%	30箇所
1人当たりの都市公園面積	H26	13.1㎡/人	13.6㎡/人	13.8㎡/人	101.5%	13.6㎡/人
都市内の街路整備延長	H26	502km	508km	508km	100.0%	510km

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	国道212号 日田拡幅ほか4カ所の整備を計画的に進め、目標値を達成した。
達成	整備水準の目安となる1人当たりの都市公園面積について、計画的な整備により目標値を達成した。
達成	銭湊大宮線ほか2箇所の整備を計画的に進め、目標値を達成した。

2 潤いのある水環境の創設

●生活排水処理対策

- ・「大分県生活排水処理施設整備構想 2015」に基づき市町村と連携し生活排水処理対策を推進しています。
- ・下水道整備や合併処理浄化槽への転換を推進する市町村に支援しています。令和4年度は17市町村に対して支援を行いました。
- ・整備に時間を要する下水道区域は浄化槽区域へ変更するなど、市町村に効率的な整備手法への見直しを促しています。令和4年度に実施した中津市を加え、これまでに11市村で見直しを実施しました。
- ・広域化・共同化計画への検討を進めるなど、市町村が連携した事業運営や維持管理の効率化への技術的な支援などを行っています。

●住民参加の水環境づくり

- ・地域住民が参加する生活排水処理対策等の水環境づくりを推進するため、啓発活動を実施しています。

●良好な河川・海岸環境づくり

- ・多様な生物が生息・生育する水辺の保全や復元、人と水とのふれあいの場の創出など、水辺環境の整備に努めています。

◆ 親水空間の創出 ◆



R4.7.24 田ノ浦ビーチ「マリンスクール '22」

◆ 小学校への出張教室 ◆ 【令和4年度実績 26校】



R4.7.14 野矢小学校
(九重町)



R4.8.31 安岐中央小学校
(国東市)



R4.10.4 宇目緑豊小学校
(九重町)

【目標指標】

指 標	基準値		R4年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
生活排水処理率	H26	72.3%	84.8%	81.8%	96.5%	88.2%

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	市町村に対して財政面での支援などを行い、目標値を概ね達成した。

3 快適な住まいづくりの推進

●住宅セーフティネットの推進

住宅確保要配慮者（以下、「要配慮者」という。）の居住の安定を確保するために、公営住宅の的確な供給に加えて、民間賃貸住宅への円滑な入居の支援等を一体的に推進することにより、重層的かつ柔軟な住宅セーフティネットを効率的かつ効果的に進めていきます。

要配慮者の住宅さがしをサポートするしくみ（令和5年3月時点）

○大分県居住支援法人・・・15者（R4:+3）

要配慮者の住宅さがしや生活サービスなどの
手続き支援を行ってくれる法人

○住宅さがしの協力店・・・84者（R4:+29）

要配慮者に寄り添った対応を行ってくれる
不動産屋さん

○セーフティネット住宅・・・10,957戸（R4:+1,140）

要配慮者であることを理由に入居を拒まない賃貸住宅

ガイドブック
にして
関係者
へ周知



住宅確保要配慮者の居住支援ガイドブック
（令和5年3月作成）

●県営住宅の改善

劣化の程度が大きいものについて、優先的に外壁や防水等改修工事を実施し、建物の長寿命化を図っています。

城南住宅などバリアフリー化されていない県営住宅の1、2階部分の住戸において、浴室やトイレに手すりや給湯設備等を設置するなど、高齢者の利用に配慮した改善工事を行い、バリアフリー化を進めています。



手すり、非常呼び出しボタン

○浴室の床をかさ上げして段差の負担を軽減し、手すり、給湯器、シャワー、非常呼び出しボタンを設置。



手すり

○手すり、非常呼び出しボタンを設置。

【目標指標】

指 標	基準値		R4年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
県営住宅住戸内バリアフリー整備戸数の割合	H26	31.2%	34.6%	36.0%	104.0%	35.0%

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	住戸内のバリアフリー化を計画的に進め、目標値を達成した。

4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

● 主要な観光地を結ぶ道路整備

- ・ 主要な観光地間を周遊するルートや、地域道路ネットワークを構成する主要な観光地へのアクセス道路について整備を進めています。

令和4年度は、新城山香線（梅木北工区）が全線開通し、国東半島地域のツーリズム振興に寄与しました。



新城山香線 梅木北工区（豊後高田市）

● 良好な景観の保全・再生・創出

- ・ 本県の恵まれた自然景観や文化を観光資源として活かすため、主要観光ルートの防護柵の更新や景勝地の支障木伐採に取り組んでいます。

《支障木伐採の事例》



《伐採前》



《伐採後》

空の公園（佐伯市）

● おもてなしの道路管理

- ・ 観光地へのアクセスルートにおいて、区画線の更新（※1）や防草対策（※2）を実施し、来県者が目的地まで安全に運転できる道路環境の創出・維持に取り組んでいます。

※1 《区画線更新事例》



別府一の宮線（由布市）

※2 《防草対策事例》



中津高田線（宇佐市）

● 観光施策等と連携した取組

- ・ 県が推進する「ツーリズム戦略」などの観光施策等と連携し、魅力ある道路環境の整備等に取り組んでいます。
- スポーツツーリズム支援として、別府一の宮線（九重町大字田野 延長約5km 区間）において、路肩拡幅等による道路環境整備（トレーニングコース整備）を引き続き実施しています。

《道路環境整備の事例》



《整備前》



《整備後》

別府一の宮線（長者原工区）